

輝くひとみ

岡山市立操南小学校 学校だより 6号 (運動会号)
令和4年6月16日

～運動会「全力を出し切り みんなでつなぐ 笑顔ときずな」～

5月28日(土)は、たくさんの保護者の方々においでいただき、「運動会」を開催することができました。「今年度こそ運動会を」という強い思いをもって、4月に新年度がスタートしました。それだけに運動会を無事終えることができ、感慨深いです。子どもたちも、お家の方々に見ていただけるのを楽しみにしながら練習を頑張ってきました。その成果を存分に発揮することができていたと思います。温かい拍手での応援、本当にありがとうございました。

<以下の「○」は先生のコメント、「☆」は子どもたちの作文等より>



○力いっぱい走ってポーズを決めたり、チェッコリをノリノリで踊って玉入れをしたり、一生懸命頑張る姿をお家の方に見ていただくことができました。

☆うちのひとが おうえんしてくれて いつもよりげんきができました。

☆うんどうかいがたのしかったです。おうえんのおかげで がんばれたよ。

☆たのしかったです。ちからいっぱいはりました。

☆ともだちとがんばりました。またやりたいです。



○2年生になって初めての大きな行事として、学年で心をつなげてがんばりました。

お返しリレーでは、去年よりも長い距離を走ったり、途中でミニハードルを越えたりしながら走りました。何位になっても全力で走り、しっかりバトンをつなぐ姿や拍手で一生懸命に応援する姿が印象的でした。

☆ダンスでは、おうちの方が大ぜいいてはずかしいと思ったけど、前をむいてしゅう中しておどることができました。みんなが曲に合わせてぜん力でおどれていたのがすごいと

思いました。

☆ダンスもリレーも1年生にいっぱい手をもらってうれしかったし、「自分は大きくなったな」とかんじることができました。おうちの人にもたくさん手をもらってうれしかったです。



3年生

○一人一人が全力を出し切れる運動会にしようという目標の下、日々練習を重ねてきました。休み時間にもバトンパスの練習をしたり、他のクラスに勝つための作戦をたてたりしてクラス一丸となって運動会に向けて準備する姿が見られました。そして、本番には「ドキドキする」と言いながらも、今までの練習の成果を発揮して全力で走ったり友達を拍手で応援したりして自分にとっての一番の力を出すことができていました。

☆友だちが、「一位にぜったいなろうね。」とってくれました。わたしは、「がんばろう」と思いました。運動場に出ると、友だちがいてくれたことを思い出しました。それで、きんちょうがなくなりました。

☆運動会で、たくさんのおかあさんたちがおうえんしてくれて、とてもうれしかったです。わたしは、「ここで負けれない」と思い、本気を出してがんばりました。

たんぽぽ学級

○運動会に向けて、毎日のように練習に一生懸命取り組みました。暑くて苦しい時もありましたが、いつも前向きでした。

☆運動会のさいしょはきんちょうしました。だけど、負けてもいいから練習のせいかを出せばいいと思いました。がんばりました。



4年生

○休み時間に友達と声を掛け合ってバトンパス練習やうらじゃ練習に進んで取り組む姿にみんなのやる気を感じました。本番では、笑顔いっぱい・元気いっぱいであらじゃを踊りました。バトンパスの練習を通して「つなぐ」ことの大切さ、うらじゃ練習を通して「そろえる」ことの大切さに気付くことができた4年生。運動会のおかげでクラス・学年の「輪」が強くて太くなった気がします。

☆さいしょは、ぜんぜん練習をしていなかったからうらじゃがきらいだったけど、友だちと練習してから、うらじゃが大好きになって楽しくなりました。本番の時すごくドキドキしていたけど、自信をもって最後までやった時、たっせい感がすごくあってとてもうれしかったです。

☆初めの時の「輪」はあまり完成していませんでした。でも練習を何度も何度もして、運動会には、みんなの息があつたうらじゃやみんなでがんばったリレーができました。それは全部4年生の輪が完全にできていたからだと思います。



5 年 生

○リレーでは、「ゴー」と「はい」のかけ声でバトンパスができるように練習を繰り返し、スムーズにできるようになりました。ボール運びでは、みんなが跳びやすいように棒を工夫して動かし、素早くジャンプができるようになりました。5年生全員の心を一つにして前向きに取り組むことができました。

☆運動会に向けて、業間休みや昼休みに練習をしました。友達が誘いに来てくれた時もあったので、やる気があることが伝わってきて、わたしもがんばろうと思いました。バトンパスでは、始めは「ゴー」や「はい」と言う声小さくてうまくできなかったけど、と中からは声も大きくなってうまくいったので、がんばってよかったなと思います。

☆わたしは、この運動会で努力すること、あきらめないことの大切さを改めて実感しました。この2つをこれからの生活に生かして、どんどんチャレンジしていきたいと思います。



6 年 生

2022/05

○学年目標である「全力疾走」を意識しながら、運動会では何を大切にしたいか子どもたちは練習の段階から考えてきました。運動会が開催されること自体に感謝しながら、リレーではバトンと絆をつなぐことを大切に、組体操では同じ目標に向かって友達と共に成長したいという思いを大切にしてきました。本番では、それらを大切にすることがうまく表現でき、子どもたちも満足気でした。

☆組体操は、最初いやいやだった自分が新しい自分になっているようでした。今までの練習は、ダメと何度も言われていました。だけど、その練習があつたからこそ、きっと上手にできたんだと思います。(中略)ともに協力し、努力し、仲間を信じる。あらためて「ともに」の意味を知ることができました。

☆この組体操で分かったこと、それは細かい、たった一つのことにでも注意を向けられたら、見ている人に気持ちが伝わることで、本番で100%を出すのならば、練習から120%を出さなきゃいけないことである。(中略)今回の運動会で、ぼくは卒業に向けて全力疾走できた。このことを次に活かしたい。



～開会式・閉会式～

<児童の言葉より>

○開会式

今日は待ちに待った運動会です。(中略)運動会ができることに感謝しましょう。今年のスローガンの通り、全力を出し切って取り組み、みんなが笑顔になれるようにしましょう。そして、今年最初の全体行事でみんなの絆を深められるように頑張りましょう。

○閉会式

(前略)今まで練習してきた経験は、今日の運動会だけでなく、学校全体の絆をつなぎ、深めていったものだと思います。運動会は終わってしまいましたが、運動会で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきましょう。



友情と絆の深まりは目で見ることができません。運動会は、本番だけでなく、一人一人がみんなのために頑張ってきた練習の過程も含めて子どもたちを大きく成長させてくれました。どの学年の子どもたちも自分の力を出し切りました。そして、「みんなで力を合わせるとすごいことができる」ということを、言葉ではなく演技で伝えてくれたと思います。

本当に心の残る運動会でした。ありがとうございました。